フジイコーポレーション

KANAGATAYA発足

金型の修理・改造

業界課題に取組む新事業

藤井社長

昨今、壊れた金型の修理・改造に困っているメーカーが多いと聞く。それというのも、従来は製造した金型メーカーが責任をもって修理・改造を請け負っていたが、その金型メーカーが急激に減少しているためだ。そこで、金型製造やプレス加工で培ったノウハウを生かして、フジイコーポレーションが修理事業〝KANAGATAYA〟を始めることになった。

自信満々のベテラン熟練工

金型メンテナンスの現場

フジイコーポレーション＝藤井大介社長、新潟県燕市小池2855＝が始める〝KANAGATAYA〟は、プレス金型のメンテナンス・修理・改造に特化した事業。これまで自社製造のメンテナンス・修理・改造のみを行ってきた金型メーカーと異なりフジイコーポレーション以外のメーカーで製造した金型にも対応していく。実際の修理・改造については熟練の金型職人が当たり、費用は程度にもよるが平均50～60万円。期間は2週間から3カ月以内の見込み。

プレス金型を主として行う事業所の数は、2017年時点では対2005年比で55%減、対2009年比で29%減。数で予想され、該当するメーカーにとっては深刻なテーマの一つだ。独自のノウハウを保有する金型は、製造を行った金型メーカー自身が修理するのが決まりみたいなものだが、そのメーカーが廃業すると引き受け先を探すのが非常に難しい。

フジイコーポレーションは55年以上に渡り、日本産業の「縁の下の力持ち」として金型を製造。「第4回ものづくり日本大賞優秀賞」受賞など、熟練技術者グループが存分に力を発揮。商品としてもメインの除雪機が世界各国の南極越冬隊で活用されているのは衆知の事実。

また、フジイコーポレーションでは、「他社製造の金型にも対応するプレス金型メンテナンス特化事業を始めることで、国内メーカーの競争力の維持と、業界のさらなる発展に貢献していく所存です」としている。さらに、将来的には〝KANAGATAYA〟の名称で、独立した事業として運営していく考えだが、そのプラス面の一つとなっているのが金型ベテラン・熟練工の生き生きとした職場の維持・充実だ。

〝KANAGATAYA〟に仕事を発注する仕組みは、ウェブサイト（https://kanagataya.jp/）からの問い合わせに対して担当営業がヒアリングを行い、見積りなどを行った上で、発注するという流れ。将来的にはオンラインで見積りが完結するようなシステムの導入や、国内外の企業との連携を行い、より簡単に金型のメンテナンス依頼が出来るように取り組んでいきたいという。

【KANAGATAYAの強み】①これまで自社での金型製造からプレス加工までを一貫して行ってきた。大手製造メーカーとの取引実績も多数②通常では行っていない他社製造のプレス金型のメンテナンスも行う③金型製造用の工作機械をはじめ、量産用のプレス機械も整備しているーなど。